

グルホシネート P ナトリウム塩液剤 ザクサ液剤	取扱メーカー： 北興, Meiji 原体メーカー： Meiji
成分： グルホシネート P ナトリウム塩〔アミノ酸系〕……11.5% その他 PRTR 該当成分： ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム〔PRTR・1種〕……15.7% ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル〔PRTR・1種〕……4.0%	性状： 青色澄明水溶性液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- 非選択性茎葉処理型除草剤で、画期的な新技術である「キラルスイッチ」により除草剤活性本体のL体のみを合成。
- 通常、散布後1～3日で効果が現れはじめ、7～14日で効果が最大となり、さらに効果の持続期間も長く、40～50日程度雑草を抑えることができる。
- 有効成分のグルホシネート P は微生物によって土壤中で速やかに分解され、約半日～1日で半減する。
- 光条件、温度条件、降雨条件などに関わらず、さまざまな環境下において高い除草効果を発揮する。

【使用上のポイント】……………

- 散布直後の降雨は、効果を減ずるので、天候をよく見きわめてから散布する。
- 雑草の生育期に有効であるが、雑草が大きすぎると効果が劣るので時期を失しないように、薬液が雑草全体によく付着するように丁寧に散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 植物に薬液が付着すると薬害を生じるので散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないように散布する。特に野菜類の生育期畦間散布で使用する場合は作物にかからないように十分注意する。
- アスパラガスの立茎栽培で使用する場合は、散布後新たに萌芽した若茎を用いて立茎することが望ましい。
- 茶（幼木）に使用する時は樹高30 cm以上、雑草の草丈20 cm以下で処理する。処理当年には摘採しない。薬液が付着した茶葉には黄化、褐変、落葉などの症状を生じることがあるので、噴口を低くして芽や新葉にかからないように注意して散布する。

【安全対策上の注意】……………

- 桑葉にはかからないように注意する（蚕毒）。
- 共通注意事項6、街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので、養魚田周辺での使用には注意する。



【適用と使用方法】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数				
				薬量	希釈水量							
果 樹 類 (かんきつ、りんご、びわ、いちよう(種子)、くり、キウイフルーツ、食用桑(果実)、さんしょう(果実)を除く)	—	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期： 草丈30cm以下)	300～ 500㎖	100～ 150 ℓ	3回 以内		3回以内				
		多年生雑草		500～ 1000㎖								
かんきつ りんご びわ キウイフルーツ		一年生雑草	収穫21日前まで (雑草生育期： 草丈30cm以下)	300～ 500㎖					500～ 1000㎖	雑草茎 葉散布		
多年生雑草		500～ 1000㎖										
く り		一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期： 草丈30cm以下)	300～ 500㎖					500～ 1000㎖		2回 以内	
		多年生雑草	500～ 1000㎖									
い ち よ う (種 子)		一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期： 草丈30cm以下)	300～ 500㎖					500～ 1000㎖			3回 以内
		多年生雑草	500～ 1000㎖									
食 用 桑 (果 実)		一年生雑草	収穫45日前まで (雑草生育期 春期萌芽前及び 夏切り後萌芽前)	300～ 500㎖		500～ 1000㎖	3回 以内					
		多年生雑草	500～ 1000㎖									
さんしょう (果 実)		一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期： 草丈30cm以下)	300～ 500㎖		500～ 1000㎖		1回				
		多年生雑草	500～ 1000㎖									
そ ば		一年生雑草	は種前 (雑草生育期)	300～ 500㎖		3回 以内			3回以内 (萌芽前は1 回以内、萌 芽後は2回 以内)			
豆 類 (種実、但し、 らっかせいを 除 く)			収穫28日前まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)									
			収穫前日まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)									
			収穫14日前まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)									
え だ ま め			雑草生育期 萌芽前処理	100～ 200㎖			2回 以内					
			収穫21日前まで (雑草生育期 畦間処理)	300～ 500㎖								
ばれいしょ												

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
さといも	—	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 植付前又は 畦間処理)	300～ 500 ml	100～ 150 ℓ	3回 以内	雑草茎 葉散布	3回以内
さといも (葉柄)			収穫7日前まで (雑草生育期 植付前又は 畦間処理)					
かんしょ			収穫30日前まで (雑草生育期 挿苗前又は 畦間処理)			2回 以内		2回以内
ごぼう			収穫前日まで (雑草生育期 は種前又は 畦間処理)					
やまのいも			収穫30日前まで (雑草生育期 萌芽前又は 畦間処理)			3回 以内		3回以内
ピーマン なす トマト ミニトマト きゅうり とうがらし類			収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)					
メロン レタス 非結球レタス			収穫30日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)			2回 以内		2回以内
キャベツ			収穫45日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)					
たまねぎ			収穫7日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)					
ねぎ すいか ブロッコリー			収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)					
アスパラガス			萌芽前 (雑草生育期)					
			収穫前日まで (雑草生育期 畦間処理)					
	一年生雑草 及び多年生 広葉雑草	収穫打切り後 (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	500 ml					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
に ん じ ん	—	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期は種前又は畦間処理)	300～500㎖	100～150ℓ	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内	
ほうれんそう			定植前 (雑草生育期)			2回以内		2回以内	
と う が ん			収穫前日まで (雑草生育期畦間処理)			3回以内		3回以内 (定植後は2回以内)	
し そ			収穫14日前まで (雑草生育期畦間処理)			2回以内		2回以内	2回以内
み ょ う が (花 穂)			収穫14日前まで (雑草生育期萌芽前又は畦間処理)						
み ょ う が (茎 葉)			みょうが(花穂)の収穫14日前まで 但し、花穂を収穫しない場合 あつては開花期終了まで (雑草生育期萌芽前又は畦間処理)						
ぎ ぼ う し			収穫90日前まで (雑草生育期畦間処理)			3回以内		3回以内	
か の こ そ う			収穫14日前まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)			2回以内		2回以内	
ホ ッ プ			収穫3日前まで (雑草生育期畦間処理)			3回以内		3回以内	
茶			摘採7日前まで (雑草生育期畦間処理)			2回以内		2回以内	
茶 (幼 木)			雑草生育期畦間・株間処理	300㎖	100ℓ	100～150ℓ			
水 田 作 物			耕起前 (雑草生育期：草丈30㎝以下)	300～500㎖	1回			1回	
水 田 作 物 (水田刈跡)	水田刈跡 雑草生育期 (草丈30㎝以下)								
水 田 作 物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草 多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期：草丈30㎝以下)	500～1000㎖	2回以内	2回以内			
た ば こ	—	一年生雑草	雑草生育期 大土寄期 畦面・畦間処理	200～500㎖	1回	1回			

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
花き類・観葉植物	—	一年生雑草	雑草生育期 畦間処理 (草丈30 cm以下)	300～ 500 ml	100～ 150 ℓ	3回 以内	雑草茎葉散布	3回以内
樹木類			雑草生育期 (草丈30 cm以下)	500～ 1000 ml	100～ 200 ℓ		植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	
樹木等	公園庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地のり面 鉄道等	多年生雑草		1000～ 2000 ml				